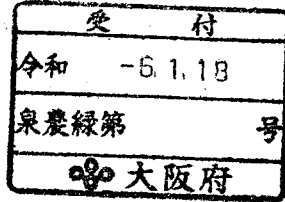


産業廃棄物処理計画書

2023年 4月 30日  
4 1 18

大阪府知事 殿



提出者

住 所 大阪府和泉市あゆみ野4丁目3-20

氏 名 ナカザワ建販株式会社  
代表取締役 中澤 秀紀

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

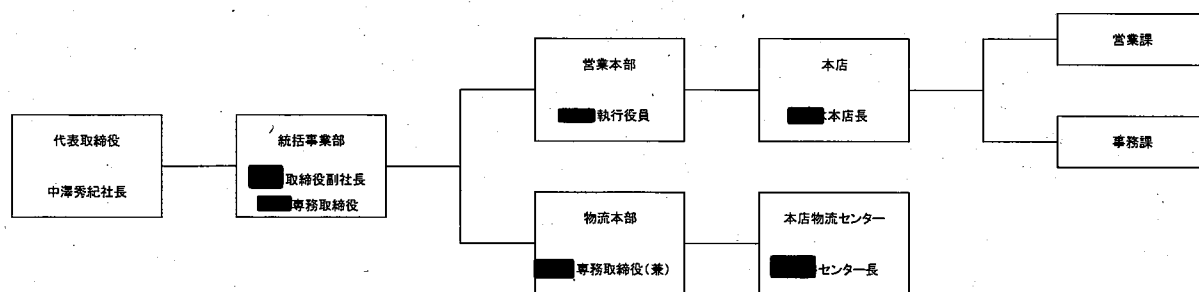
電話番号 0725-30-3500

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ナカザワ建販株式会社 本店
事業場の所在地	大阪府和泉市あゆみ野4丁目3-20
計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	53：建材料、鉱物・金属材料等卸売業
②事業の規模	2022年度売上高：31,625百万円
③従業員数	71名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>産業廃棄物発生工程フロー</p> <p>受注工程</p> <p>受注活動 → 受注獲得 → 材料発注 → 商品出荷</p> <p>発注ミスで廃棄物発生 輸送時の破損により廃棄物発生</p> <p>加工工程</p> <p>材料入荷 → 材料保管 → 材料加工 → 商品出荷</p> <p>保管時の破損により廃棄物発生 加工ミスで廃棄物発生 輸送時の破損により廃棄物発生</p>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (2022年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	管理型建設系混合廃棄物	ガラスくず等
	排出量	361.1 t	483.9 t
	(これまでに実施した取組) ・ 誤発注や余剰発注を減らし、廃棄量削減に努める ・ 取引先へ返品ができるように交渉を進める		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	管理型建設系混合廃棄物	ガラスくず等
	排出量	340 t	440 t
	(今後実施する予定の取組) ・ 誤発注や余剰発注を削減する為に、前工程でのチェックを強化する		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 所定の保管場所へ保管する
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 現状維持

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
【前年度（2022年度）実績】			
木くず	—	—	—
252.4 t	— t	— t	— t
【目標】			
木くず	—	—	—
200 t	— t	— t	— t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	管理型建設系混合廃棄物	ガラスくず等
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	管理型建設系混合廃棄物	ガラスくず等
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	管理型建設系混合廃棄物	ガラスくず等
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	管理型建設系混合廃棄物	ガラスくず等
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
【前年度（2022年度）実績】			
木くず	-	-	-
- t	- t	- t	- t
【目標】			
木くず	-	-	-
- t	- t	- t	- t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
【前年度（2022年度）実績】			
木くず	-	-	-
- t	- t	- t	- t
- t	- t	- t	- t
【目標】			
木くず	-	-	-
- t	- t	- t	- t
- t	- t	- t	- t

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	管理型建設系混合廃棄物	ガラスくず等
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	管理型建設系混合廃棄物	ガラスくず等
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	管理型建設系混合廃棄物	ガラスくず等
	全処理委託量	361.1 t	483.9 t
	優良認定処理業者への処理委託量	361.1 t	483.9 t
	再生利用業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
・ 廃棄物の分別強化			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
【前年度(2022年度)実績】			
木くず	-	-	-
- t	- t	- t	- t
【目標】			
木くず	-	-	-
- t	- t	- t	- t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
【前年度(2022年度)実績】			
木くず	-	-	-
252.4 t	- t	- t	- t
252.4 t	- t	- t	- t
- t	- t	- t	- t
- t	- t	- t	- t
- t	- t	- t	- t

		【目標】		
		産業廃棄物の種類	管理型建設系混合廃棄物	ガラスくず等
②計画	全処理委託量		340 t	440 t
	優良認定処理業者への処理委託量		340 t	440 t
	再生利用業者への処理委託量		- t	- t
	認定熱回収業者への処理委託量		- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		- t	- t
	(今後実施する予定の取組)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃棄物の分別強化および再利用強化</li> </ul>				
※事務処理欄				



【目標】			
木くず	—	—	—
200 t	— t	— t	— t
200 t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t

